

楽しく活気ある授業を

日枝中公表会 生徒の自主性大切に



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(20)18811



NIE事務局
☎052(221)1047

中日新聞ホームページ
<http://www.chunichi.co.jp/>



公開授業Ⅰ 3Cの「社会」授業で活発に発言する生徒たち



過疎化や少子高齢化の進む
広島県生野島の地図

川原さん「一体感生む授業」
平塚さん「本物の楽しさを」

生徒に確かな学力



健闘を誓って握手で始まる体育の授業

あきらめず 考え続けて

11月5日に、高山市の日枝中
で公表会(高山市教育委員会研究指
定)がありました。午後の2時
間、全20クラスが、国語、社会
、数学、理科、英語、音楽、美術、
技術、家庭、体育の10教科の授業
を公開しました。当日は、高山市
内の先生方をはじめ、飛騨地区の
多くの先生方が参観され、生徒の
主体的に学習する姿に感心されま

“中学生が幸せなとき”とは「夢
や目標に向かい努力し、それを
考えることから逃げない
支えてくれる家族(先生)大人、
仲間がいるとき」と考えていま



校長 中野谷康司
「自分の努力
性・協同性」を
夢や目標、仲
間への励まし
の言葉が言え

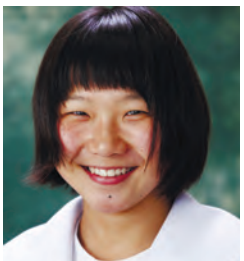
るとし、「夢とあたたかい心のある
学校」を合言葉に取り組んでいます。
しかし、「分らない・できない」こ
とがあると、あきらめてしまふ生徒
がいるのも事実です。そこで、研究主
題を「求め続け、共に拓く授業の創

造」とし、授業で考えることから逃げ
ない生徒を育てることを大切にしてい
ました。本日の公表会で、本校の生徒
や職員が夢や目標に向かい、努力し
ている姿を、ご覧いただけたら幸い
です。

取り入れています。生徒は「分らない
ときに仲間や先生がすぐに気づいて
くれて、ていねいに教えてくれるので
うれしい」と実感しながら、生き生き
と学んでいます。



先生と対話しながら
「数学」の少人数授業



生徒会長・平塚菜さん

しょう」と語りました。



授業委員長・
川原芽衣さん

る授業を土台に、意見をつなぎ、分らないこ
とを教えあつて、一体感のある授業を創ってい
きましよう」と全校生徒に呼びかけました。

生徒たちも授業は受
け身でなく、自分たち
で創っていくものと考
えています。授業づく
り委員長の川原芽衣さ
んは、後期の生徒総会
で「前期に創り上げ
た、楽しく、活気あ



ペアで教え合う「数学」の授業

生き生きと表現する「英語」授業



特別号はドラゴン号で制作

19人乗りマイクロバスを5
人乗りに改装し、カラープ
リント3台、自家発電機(連
続20時間運転可能)、パソ
コン2台、デジタルカメラ2
台を備え、取材基地として
活用できるよう作業スペース
も設けてある。



発行能力は1時間最大カラ ー1800枚(A3判片面)。

郷土教育

日枝中では、今年度新たに、地域にお住まいの4人の方を講師に迎え、教科の授業の中で郷土教育に取り組んでいます。

音楽科では中村隆夫さんと砂田明伸さんに指導を仰ぎ、春の高山祭で演奏する「高い山」という曲に挑戦しました。

ある生徒は「講師の先生のおかげでうまく叩けるようになり、祭に参加し

たくなりました」という感想をもちました。

からくり人形操作に自らも参加している、音楽科担当の山下美恵子教諭は「地域の伝統を受け継ぐ子供が増える」と話しています。

美術科では、伝統ある飛騨の版画づくりを学んでいます。郷土の四季を表

現した絵はがきを作成するため、坂本憲一さんの指導を受けました。「彫り

進み版画」という技法を学んだ生徒は「彫りながら刷るのが楽しいです」

「版の重なりによって、思ってもみなかった美しい色が表現できます」と言いながら意欲的に制作しています。

家庭科でも、地域の食材である、あぶらえ(エゴマ)を使った「せんだい

も(じゃがいも)のあぶらえ和え」を、神出加代子さんに教わりながら調理実習でつくりました。

このように、日枝中では郷土教育を通して、「夢をもち、ふるさとの美しさを語る」生徒の育成に力を入れています。

地域の講師に学ぶ



調理実習で「せんだいものあぶらえ和え」づくりを学ぶ



篠笛の音の出し方を学ぶ

太鼓のバチさばきを学ぶ
美術教師がコツを学ぶ

夢をもって熱く燃えた体育大会

夢と温かい心の学校に

学年別研修

→直接体験から学ぶ→

今年度は、5月21日から23日まで3年生が、大阪・広島方面へ修学旅行へ行きました。「真の平和を築く」をテーマに、考え、生きていく」をテーマに原爆資料館の貞子の折鶴や原爆ドームなどの本物に触れ、生徒たちは強く胸を打つ体験をしてきました。

2年生は、6月11日から13日まで職場体験をしました。

「挨拶・責任感・気働き」を磨くために、84ヶ所の職場で社会の一員としてくたくたになるまで働きました。

1年生は、6月11日から13日まで「2022人で成功させる」をスローガンに掲げ、国立乗鞍青少年交流の家で宿泊研修をしました。厳しい自然の中で仲間との絆を結びました。

どの学年でも、生徒は、それぞれの体験を個人新聞にまとめ、体験を通して学んだことを交流しました。

直接体験から学ぶ



職場体験で保育園の子とむちむち



職場体験で黙々と働く



修学旅行で広島へ



新聞作りを生かし新聞切り抜き作品コンクールに参加



乗鞍での自然体験

